栃木県総合文化センター開館35周年記念事業

佐渡裕 指揮
新日本フィルハーモニー交響楽団
ヴァイオリン 三浦文彰

次代の巨匠ヴァイオリニストと贈る
ブラームス最高傑作

© Yuji Hori

© Jun Yoshimura

ブラームス
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.77
交響曲第1番 ハ短調 Op.68

© K.Miura

2026 5.24 日
15:00 開演
［14:15 開場］

栃木県総合文化センター メインホール

チケット料金（全席指定 / 税込） S席 10,000円 / U-30席（30歳以下限定）3,000円

※チケットはお1人様4枚まで購入可
※U-30席は30歳以下限定（公演日の年齢、当日入場時に身分証提示）、窓口･電話販売のみ
※車いす席での鑑賞をご希望のお客様は、ご購入前に栃木県総合文化センタープレイガイド（028-643-1013／10:00～19:00）までお問い合わせください。
※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。※事情により公演内容が変更になる場合がございます。

一般発売 / 2月7日［土］ 10:00～（発売初日の電話受付は14:00から）

栃木県総合文化センタープレイガイド（10:00～19:00）
電話受付｜028-643-1013（発売初日の電話受付は14:00から）
WEB予約｜https://www.sobun-tochigi.jp/（24時間）

公演に関するお問合せ｜（公財）とちぎ未来づくり財団 文化振興課
028-643-1010（平日8:30～17:15）

主催｜公益財団法人とちぎ未来づくり財団 共催｜下野新聞社／RADIO BERRY

佐渡裕 指揮　新日本フィルハーモニー交響楽団　ヴァイオリン：三浦文彰

トップアーティストの「響宴」で味わうブラームス！

音楽評論家　奥田佳道

マエストロ佐渡裕とヴァイオリンの三浦文彰がブラームスを奏でる。ファン憧れのトップアーティストの「響宴」に胸ときめく。
愛すべきキーワードが浮かぶ。音楽の都ウィーンだ。佐渡も三浦もウィーンから檜舞台に羽ばたいた。ドイツ北部の港街ハンブルクに生まれたブラームスも20代の終わりからウィーンに住み、ゴールドの装飾もまぶしい、あの楽友協会の監督も務めた。
ブラームスはお気に入りの避暑地で創作のペンを執る夏の作曲家だった。傑作の誉れ高いヴァイオリン協奏曲は、オーストリア南部ヴェルター湖畔の美しい村ペルチャッハで書かれた。壮大にして優美。三浦が紡ぐ流麗かつ技巧的なソロパートばかりでなく、オーケストラがまた素晴らしい。夢見るような調べもハンガリー舞曲に通じる躍動感も聴こえてくる。
練達のキャリアを誇る佐渡が、劇的な交響曲第1番に腕をふるう、と記しただけで早くも興奮を隠せないファンも多いことだろう。ここへきて演奏のクオリティをぐっと高めている新日本フィルハーモニー交響楽団と佐渡のステージは、いま音楽シーンの華だ。
喝采が早くも聴こえてくるかのよう。ブラームスづくしのロマンティックなコンサート。開演が近づいてきた。

© Masahiro Uto

三浦文彰

Fumiaki MIURA（ヴァイオリン）

ハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。18年サントリーホールARKクラシックスのアーティスティック・リーダー、24年に宮崎国際音楽祭の音楽監督に就任。ロサンゼルス・フィル、マリインスキー劇場管、イスラエル・フィル、ベルリン・ドイツ響、NDRエルプ・フィルなどと共演。共演した指揮者ドゥダメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、ズーカーマン、ロウヴァリ、フルシャなど。ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスも務めた。
室内楽では、ズーカーマン、マイスキー、ピリスなどと共演。国内では、大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題になった。24年、デビュー15周年を迎え、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を行い絶賛を博した。25年には、フィルハーモニア管、バンベルク響と共演。CDはエイベックスよりリリース。09年度第20回出光音楽賞受賞。使用楽器は株式会社クリスコ（志村晶代表取締役）から貸与された1732年製グァルネリ・デル・ジェス「カストン」。

佐渡裕

Yutaka SADO（指揮／音楽監督）

京都市立芸術大学卒業。レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。95年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ケルンWDR交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2025年6月までオーストリアの名門トーンキュンストラー管弦楽団音楽監督を10年間務め、その後同楽団名誉指揮者に就任。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者、「サントリー1万人の第九」総監督などを務める。CD録音は多数あり、最新盤はトーンキュンストラー管弦楽団を指揮した22枚目のCD「マーラー：交響曲第6番」。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」（新潮文庫）、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」（PHP文庫／新書）など。
オフィシャルファンサイト
http://yutaka-sado.meetsfan.jp

© Peter Rigaud c/o Shotview Artists

新日本フィルハーモニー交響楽団

NEW JAPAN PHILHARMONIC SUMIDA, TOKYO

1972年、小澤征爾、山本直純の下、自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任、歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕（75～79年）、第2代音楽監督・井上道義（83～88年）、第3代音楽監督・クリスティアン・アルミンク（03～13年）、第4代音楽監督・上岡敏之（16～21年）。ダニエル・ハーディングがMusic Partner of NJP（10～16年）、インゴ・メッツマッハーがConductor in Residence（13～15年）、久石譲が新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ（W.D.O.）音楽監督（04～25年3月）、Music Partner（20～25年3月）を務めた。
受賞歴に三菱信託音楽賞奨励賞、三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ペンクラブ音楽賞等。2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。

公式ウェブサイト：www.njp.or.jp　公式X：@newjapanphil
公式Facebook：/newjapanphil　公式Instagram: /newjapanphil

© K.Miura

栃木県総合文化センター

〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8　TEL 028-643-1000（代表）

交通アクセス

- 東武宇都宮駅から — ○徒歩で約10分
- JR宇都宮駅から — ○タクシーで約5分
  ○バス（①②⑥⑦⑪⑫⑬のりば等 県庁前経由）で「県庁前」下車後、徒歩で約3分
- 東北自動車道から — ○鹿沼I.C.から約30分

※会場には駐車場がございません。
お車でお越しの方は周辺の有料駐車場をご利用ください。